

SCSKグループは「夢ある未来を、共に創る」という経営理念のもと、さまざまなステークホルダーの皆様と共に、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動だけに留まらず、社会貢献活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。SCSKグループのマテリアリティである「豊かな未来社会の創造」「安心・安全な社会の提供」「いきいきと活躍できる社会の実現」は、すべて「人の幸せ」につながるものです。社会貢献活動として次世代人材の育成やユニバーサル社会※の実現などに取り組むとともに、社員一人ひとりが、社会の抱えるさまざまな課題に関わることを積極的に推進しています。

※ユニバーサル社会：人種、障がいの有無などの違いを理解し、自然に受け入れ、互いに認め合う共生社会

SCSKグループの次世代育成活動

■ CAMP (Children's Art Museum & Park)

CAMP (Children's Art Museum & Park)は、未来を担う子どもたちに向けたSCSKグループの次世代育成活動です。ワークショップを通していろいろな表現方法を知り、グループでの共創活動を通じて、これからのかどもたちに必要な社会性、他者や多様性を受け入れ楽しむ心を育みます。



■ CAMPワークショップ — 次世代育成・地域貢献 —

CAMPスタジオをはじめ、全国のSCSK拠点、グループ会社で定期的にワークショップを開催しています。

また、社員、各拠点の近隣大学の学生や一般公募で集まった人たちがファシリテーターとしてワークショップを運営しています。

ワークショップ5つの要素：CAMPワークショップは、5つの要素で構成されています。

1. つくる——過程・試行錯誤・想像力

つくる過程での試行錯誤は、時には失敗や苦しみもあります。それらはすべて、創造力へつながっていきます。

2. 考える——好奇心・探求・発見

考えることは楽しいことです。わくわく、ときどきする好奇心を膨らませ、探求と発見を繰り返していきます。

3. つながる——出会い・共有・交換

ワークショップは出会いの場です。時間や空間を共有しアイディアを交換しあい、お互いにつながっていきます。

4. 発表する——客観視・理解・伝達

伝えることは、相手と自分を理解する機会となります。発表することで、客観的に自分自身を見つめ直します。

5. ふりかえる——きっかけ・成長・再構成

ふりかえることは次へのきっかけと成長につながります。体験や感じたことを再構成し、改めて心に刻みます。

CAMPの広がり：29の都道府県で開催しています。

<http://www.camp-k.com>



■ ワークショップ共同開発、共同研究

東京大学大学院情報学環や、NPO団体などと連携し、ワークショップデザイン、ファシリテーター育成方法、CAMPワークショップに参加した長期的（数年から10年）な効果など、研究活動も継続的に行っております。また、未来を生きるこどもたちにとって必要な力を時代の変化に合わせ見直し、プログラム開発も行っています。

「企業が取り組む社会貢献事業の新しいスタイル」としてグッドデザイン賞を受賞

